

福井市の小学校で制作された昭和初期の郷土かるた

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 門井, 直哉 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10098/10117 |

福井市の小学校で制作された昭和初期の郷土かるた

福井大学教育学部 門 井 直 哉

キーワード：郷土かるた, 福井市, 豊小学校, 昭和初期

はじめに

本稿では昭和8年(1933)頃に福井市豊尋常小学校(現・福井市豊小学校。当時の校地は現・新木田交差点付近。)で制作された「郷土いろはかるた」の読み句について紹介する。同かるたは当時2年生の担任であった芳谷ひで氏(明治28年生、昭和50年没)によって制作され、研究授業で用いられたという。なお、同氏は戦後の昭和31～37年(1956～62)には福井市初の女性教育委員として活躍された人物でもある。ここで紹介する読み句は、平成初年頃、当時の教え子からかるたの話聞いたひで氏のご息女・玲子氏が、その方から思い出せる限りの読み句を聞き出し、書き留めたものである。残念ながら、かるたの現物はなく、研究授業の中でどのように使われたのかも、その詳細は明らかでない。

なお、「郷土いろはかるた」が制作された頃、昭和8年は福井県内で陸軍特別大演習が挙行された年であった。読み句に軍事関連のものが散見されるのは、まさに当時の世相を反映したものと推察される。また、今では見ることのできない、あるいは知る人の少なくなった福井の名所や特産品が詠みこまれている点も興味深い。これらの読み句は当時の雰囲気や現代に伝える貴重な史料といえるだろう。

このたびの読み句の掲載について、ご快諾をいただいた芳谷玲子氏には篤く感謝申し上げます次第である。

芳谷ひで作「郷土いろはかるた」

イ 石は笏谷 刃物は武生
 ロ 露領₁に対する敦賀の港
 ハ 橋本左内は福井の偉人
 ニ 日本一位の福井の人絹₂
 ホ 本町通り₃は福井の目抜き
 ヘ 兵営は鯖江三十六聯隊₄
 ト 遠き昔は越の国
 チ 忠勇の武士を祀れる招魂社₅
 リ 陸軍のほまれば高し第九師団₆
 ヌ 塗物は若狭について河和田塗
 ル 類なき武勲の二斥候₇
 ヲ 男大迹王 恵みつきせぬ三大川₈
 ワ わかめは越前 鯛若狭_(安島神?)
 カ 鴨溜₉は福井に誇る名の所
 ヨ 義貞公戦死の土地は新田塚
 タ 鯛は若狭の… (以下不明)

レ 聯合の運動会₁₀に九_(?)千人
 ソ 杣山は昔瓜生の城の跡₁₁
 ツ 九十九橋歴史に名高き木と橋と₁₂
 (ネ・ナ 不明)
 ラ ラッパの音足並み揃う青訓生₁₃
 ム 昔の城址五_(御?)本丸₁₄
 (ウ・キ・ノ 不明)
 オ お手植の松₁₅栄えます足羽山
 (ク・ヤ・マ・ケ・フ・コ 不明)
 エ 永平寺曹洞宗の大本山
 (テ・ア・サ・キ・ユ 不明)
 メ めのうは若狭の特産品_(?)
 (ミ 不明)
 シ 新橋₁₆は(北陸一の)モダン橋
 (エ・ヒ・モ 不明)
 セ 赤十字₁₇通ひのバスは日に〇〇回
 (ス・ン 不明)

補注

- 1 当時は敦賀とロシアのウラジオストク(浦塩)を結ぶ定期航路があった。東京から敦賀までは欧亜国際連絡列車が運行され、ウラジオストクからはシベリア鉄道を經由してヨーロッパに行くことができた。
- 2 人絹は人造絹糸の略。レーヨン。昭和7年(1932)には世界初の人絹取引所が福井市佐佳枝中町(現在の大名町交差点付近)に開設された。
- 3 現在の大名町交差点から九十九橋北詰付近までの町通り。
- 4 鯖江歩兵第36連隊。明治29年(1896)に第9師団のもとに創設され、明治30年(1897)に鯖江の神明神社西側の台地上に兵営が置かれた。現在、跡地は三六公園となり、周辺に「三六町」の町名を残している。
- 5 国事殉難者を祀る官祭招魂社。現在の足羽山招魂社。
- 6 金沢に置かれた陸軍の師団。富山・石川・福井各県の兵士で構成されていた。昭和7年の第一次上海事変に動員。昭和8年の陸軍特別大演習では第9師団と第11師団(香川県善通寺)を中心に約2万人の将兵が南北軍に分かれて戦闘演習を行った。
- 7 福井市出身の野路岩夫伍長と新貝捨男上等兵。昭和7年の上海事変では斥候の任務中に中国兵の襲撃に遭い、16名を殲滅しながらも、最期は敵と刺し違え

- て果てたという。両名の活躍はかの「爆弾三勇士」並に賞賛され、戦死の報の直後から舞台・映画化されるほどの人気を博した。
- 8 男大迹は継体天皇の諱。日野川・足羽川・九頭竜川の水を三国方面に流し、福井平野に農地を拓いたとする治水伝承がある。
- 9 足羽山西麓では冬季になると田に堰を設けて水を張り、鴨の猟場としていた。鴨溜での猟は藩政時代より昭和10年（1935）まで続けられていた。
- 10 大正11年（1922）より開催されている福井市小学校の連合運動会。足羽川原の公開運動場を会場としていた。
- 11 南条郡南越前町阿久和にある柚山城跡。鎌倉末より瓜生氏代々の居城であった。
- 12 足羽川にかかる九十九橋は、藩政期から明治末頃までは北半分が木造、南半分が石造となっており、半石半木の奇橋として知られていた。明治42年（1909）に木造トラス橋となり、昭和8年には鉄筋コンクリート橋に架け替えられた。
- 13 当時、小学校に併設されていた青年訓練所の学生。16歳から20歳の勤労男子に軍事予備教育を行っていた。
- 14 福井城の本丸跡。大正12年（1923）より福井県庁が置かれている。
- 15 明治42年の皇太子（後の大正天皇）行啓の際、足羽山に植樹された松。現在は記念碑のみが残る。なお、足羽山は皇太子行啓に合わせて公園として整備された。
- 16 足羽川にかかる幸橋。幕末までは九十九橋が足羽川にかかる唯一の橋であったが、文久2年（1862）に幸橋が架けられ、新橋とも呼ばれた。昭和5年（1930）に木造橋から鉄筋コンクリート橋に架け替えられ、昭和8年からは福井電気鉄道（現在の福井鉄道）の乗り入れも始まった。
- 17 福井市月見町にある日本赤十字社福井支部病院（現在の福井赤十字病院）。大正14年（1925）開院。

Local playing cards produced in Minori elementary school of Fukui city, in the early Showa era

Key words : local playing cards, Fukui city, Minori elementary school, early Showa era